平成31年度　都立学校・学校経営シート

校章	都立北豊島工業高等学校	全日制課程
	地域に愛され、地域に開かれた工業高校 校訓「自治」 －実力主義、努力主義、反省主義－	

基本情報

所在地	〒 174-0062 板橋区富士見町28番1号	電話番号	03-3963-4331
アクセス	(1) 都営三田線「板橋本町」下車徒歩約8分 (2) 東武東上線「中板橋」下車徒歩約8分 (3) 都営バス　王子　←→　新宿　富士見町都営住宅前下車　4分		
学科	総合技術科		
在籍生徒数	総合技術科368人（男子331人、女子37人）		
教育課程の特徴	50分6限授業、習熟度別クラス（国語・数学・英語・情報技術基礎）		
ホームページ	http://www.kitatoshimakogyo-h.metro.tokyo.jp/	自律経営推進予算 31年度(単位：万円)	3,108
その他	デュアルシステム推進校	校服	標準服　男子：詰襟（黒） 女子：ブレザー（濃紺）

基本情報

進路	実績	四年制大学	10%	短期大学	0%	専門学校	24%	就職	63%	その他	3%
	特徴	就職内定率100%、計画的なキャリア教育の実践、充実した資格取得の励行									
主な部活動		硬式野球部、サッカー部、バスケットボール部、硬式テニス部、卓球部、軽音楽部、機械工作部（ホンダエコノパワー出場）、釣り部、電力部									
学校評価		生徒授業満足度：65%、生徒進路満足度：70%、保護者満足度：83%									
入学者選抜情報	募集人員	推薦：52名（男女問わず）、一般：123人（男女問わず）									

応募倍率												
29年度入学生	推薦	男女	1.23	30年度入学生	推薦	男女	0.94	31年度入学生	推薦	男女	0.77
	学力検査	男女	0.93		学力検査	男女	0.76		学力検査	男女	0.73

その他の特徴	
主な学校行事	文化祭（白亜祭）、体育祭、修学旅行、芸術鑑賞教室、校外学習（学年ごと）　等

目指す学校

本校は創立99年目の伝統ある工業高校である。校訓に「自治」を掲げ、「自らの人生を自ら治める」ことができる人材」「本校で学んだ知識と技術を活用して社会に貢献する」ことができる人材の育成を目指す。

	今年度の重点目標	今年度の取組と自己評価
目標①	**生徒の基礎学力の定着・向上と学習習慣の定着** ①スモールステップの授業の実践による達成感と、復習・振り返り・まとめを充実させ、繰り返しによる学力の定着を図る。 ②校内寺小屋事業や補習等を実施し、組織的に基礎力の定着を図る。 ③ICTの活用やアクティブラーニングなど、授業法の工夫・改善による、主体的な学びの実現。	①全教員が共通理解の上、生徒へのきめ細やかな指導を繰り返し行った結果、生徒から「わかった」「面白い」という声が聞かれるようになり、生徒が達成感を感じるだけでなく、授業が活性化され発言する生徒の増加につながった。 ②基礎学力が身についていない生徒を対象に放課後を利用した校内寺子屋の補講は、生徒自身が自主的に参加し理解力の向上が図れ通常の授業と繋がりプラス傾向になった。また教職員による放課後および休業中の補習補講を実践した結果、生徒自ら学ぶ意欲の向上し「あきらめない」意識が生まれ中途退学の減少へとつながった。 ③ICT機器の有効活用によりテンポの良い授業が実践され、授業へ参加する意欲が向上した。
目標②	**生徒が希望する進路の確実な実現** ①学校全体のキャリア計画・進路指導計画に基づいた体系的なキャリア教育の充実。 ②インターンシップやデュアルシステムを充実させ、職業意識の育成と主体的に在り方生き方を考えて実現する力の育成。 ③資格習得への指導と、合格に向けた補習・補講の充実。	①各学年において、ホームルームや進路説明会において将来の職業について意識させる系統的なキャリア教育を実践した結果、自らの将来に夢を持ち、職業意識が芽生え学校で学ぶ意義と大切さを考える生徒が増えた。 ②2学年全員のインターンシップの実践により「仕事とは何か」「働くことの重要性」「社会人としての生きること」について真剣に考える生徒が増え、職業選択に一層に真剣に取り組むようになった。 ③授業以外に多くの先生方が組織的に早朝及び放課後、土曜日や長期休業中において資格習得の講座を開講するだけでなく生徒一人ひとりの取組みに合わせ補習補講を行うことで合格へと導いた。
目標③	**学校生活の充実と規範意識の醸成** ①規範意識の醸成や安全教室等を充実させ、社会人としての資質・能力を育成。 ②学校行事の活性化と部活動の活性化を図り、生徒の満足度や帰属意識を高める。 ③地域との連携の充実を図る。 ④SCやYSW等の活用により相談しやすい環境づくりを図り、組織的対応を実践する。	①日頃から全教職員で声掛けを中心に行い、決して強制するのでなく物事を理解させ解決できる自主性を育成することで社会人として必要な資質能力を身に付けさせることができ規範意識の向上が図れた。 ②体育祭や文化祭において生徒の自主性を尊重し自分の考えを形にさせる指導の結果、充実感の高い行事となった。部活動は、専門性の高い部活動指導員を複数配置することで技術力が向上し部活動への取組みが充実した。 ③近隣の小中学校との連携や町内会の行事に参加したことで生徒と高校への理解が図れた。 ④早期に生徒状況を把握しSCやYSWとの相談体制の充実を図った結果、満足した学校生活を送る生徒が増えた。

数値目標

	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	就職内定者（人）	83	110	100	88	100	77	90	87	100	100	100
目標②	ガス溶接（人）	70	77	80	62	80	79	80	78	80	80	80
目標③	第2種電気工事士（人）	38	14	25	17	25	24	25	20	25	25	25